コースNo. 21　トップセミナー 2　虎ノ門開催

中小企業大学校研修
虎ノ門キャンパス
企業経営・経営戦略

循環型経済で新たなビジネスモデルを創造する

一歩を踏み出す！サーキュラー・エコノミー

研修のねらい

地球温暖化をはじめとするサステナビリティ問題が世界的に問題になっている中、日本は、2030年に2013年比で46%の温室効果ガスの削減、2050年には実質ゼロを目標にしています。サステナビリティ問題を解決するための資源循環経済（サーキュラーエコノミー）の考え方は、資源調達コストの高騰・確保の難しさに直面する中小企業の課題解決から、新たなビジネスモデルのもとで価値創造経営への転換を図るチャンスとなります。

本研修では、「サーキュラー・エコノミー」の正しい理解や進め方、その推進によってもたらされる新たな企業価値について、専門家による提言、メッセージ、最先端の取り組み事例を紹介します。また、自社が取り組む際のヒントやポイントを考えて、ビジネスモデルの変革を目指します。

研修のポイント

- ☑ SDGs を実践するサーキュラー・エコノミーについて、その考え方の基本が学べます。
- ☑ 中小企業の実践例をもとに、サーキュラー・エコノミーを自社のビジネスに反映するプロセスを学べます。
- ☑ ビジネスモデルを変革し、時代を先取りする企業価値創造経営を目指します。

研修期間

2024年
11/27(水)

対象者

経営者、経営幹部

・サーキュラー・エコノミーについて、最新情報や取り組み方等、事例も含めて詳しく知りたい方

定　員 20名

受講料 16,000円（税込）

会場

中小機構　本部

東京都港区虎ノ門 3-5-1
虎ノ門37森ビル9階　会議室

月 日	時 間	科 目	内 容
11/27(水)	9:20-9:30	オリエンテーション	
	9:30- 11:00	サーキュラー・エコノミー その本質	【サーキュラー・エコノミー：循環経済がビジネスを変える】 ・環境政策の最新情報とともに、これからのものづくりとビジネスモデルの変革をとらえます。
	11:00-12:30	事例で学ぶ サーキュラー・エコノミー	【捨て方をデザインする環境ビジネス】 ・廃棄物処分業を、総合リサイクル業・資源循環業として事業を解釈し、さまざまな企業との連携を実現した事業展開と事例を紹介。事業の変革を従業員と共有する企業カルチャーの構築方法などについても触れます。
	13:30-16:30	サーキュラー・エコノミー の考え方、進め方	講師やコーディネーターを交えて、「サーキュラー・エコノミー（循環型経済）」をテーマとしたワークショップや意見交換を行います。 グループで、自社においてどのようなビジネス展開が可能になるか、また、どのようなビジネスチャンスの可能性があるのか検討してもらいます。グループ毎に意見をまとめ、発表し、共有化を図ります。 幅広い層の考えや意見に触れながら課題やアイディアを得ることで、自社のビジネスモデル創造のヒントを探ります。
	16:30-16:40	修了証書の授与	

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師紹介（敬称略）

東京大学大学院　工学系研究科　人工物工学研究センター　価値創成部門　教授
梅田　靖（うめだ　やすし）

1992年東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻博士課程修了。博士（工学）。専門はサステナビリティ設計学。同大工学部助手、講師を経て、1999年から東京都立大学大学院工学研究科機械工学専攻助教授、2005年に大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻教授、2014年に東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻教授、2019年から現職。

株式会社ナカダイホールディングス　代表取締役
中台　澄之（なかだい すみゆき）

リサイクル率99%の中間処理場をもつ(株)ナカダイと、企業や自治体の廃棄物のリサイクル化やCO2削減のコンサルティングを行う(株)モノファクトリーのグループ三社の代表を務め、資源循環ビジネスを展開する。2023年に九州電力と合弁でサーキュラーパーク九州株式会社を設立し、共同代表取締役に就任。2013年グッドデザイン賞「未来づくりデザイン特別賞」。著書に『捨て方をデザインする循環ビジネス』（誠文堂新光社）など。

合同会社サカタ経営　代表社員
坂田　卓也（さかた　たくや）

日本大学大学院理工学研究科（機械工学専攻）を修了後、大手印刷会社・蓄電システム開発会社を経て、経営コンサルタントとして独立。経営工学（IE）を活用した生産性改善、品質管理（QC）・品質改善、新工場計画、生産ラインの自動化等のコンサルティングを行う他、省エネルギー診断やSBTの計画策定など脱炭素に係わる取り組みにも従事。印刷関連業・金属加工業・食品加工業・繊維業などの製造業を中心とした幅広い業種の支援に携わっている。中小企業診断士、技術士（機械部門）、エネルギー管理士

Be a Great Small.
中小機構

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
中小企業大学校 東京校

こんなところ！ 東京校

受講風景や研修の様子はこちらからご覧頂けます。
＼事前確認で、安心して受講できる！／ facebook

申込方法

中小企業者の方であればどなたでも受講できます。
インターネットにてお申込ください。

※中小企業の定義は HP 等でご確認いただくか、当校までお問合せください。
　士業・経営コンサルタント等の方はお断りさせていただく場合がございます。
※応募者多数のためキャンセル待ちとなる場合がございますので、お早めにお申し込みください。
　応募状況は、HP でもご確認いただけます。

お申込み・お問い合わせ先

中小企業大学校東京校　企業研修課

〒207-8515　東京都東大和市桜が丘 2-137-5

URL　https://www.smrj.go.jp/institute/tokyo ※インターネットからお申し込みができます。

TEL　042-565-1207　E-mail　to-kenshu@smrj.go.jp

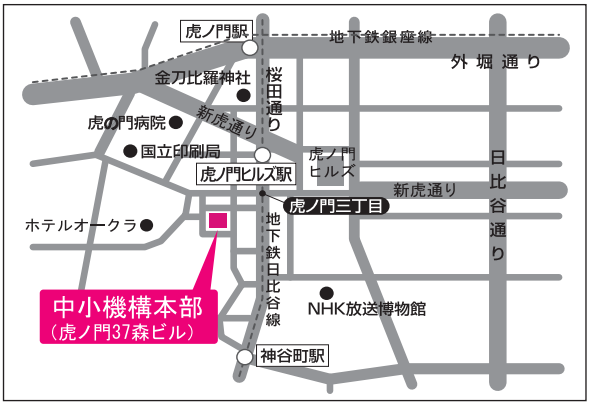
受講決定と受講料の納入

受入決定後、開講日の約 1.5 ヶ月前頃から貴社の連絡担当者様あてに「受講決定通知兼振込依頼書」等を送付いたします。受講料は指定日までにお振り込みください。（恐れ入りますが、振込手数料は貴社でご負担ください）。

※納入後の受講料は、キャンセルされた場合にも一部または全額を申し受けますので予めご了承ください。
※より多くの企業の皆様が受講できるよう、原則として 1 コースあたり 1 社 2 名様までのお申し込みといたします（2 名を超える場合はキャンセル待ち扱いといたします）。

中小企業基盤整備機構本部　交通アクセス

中小企業基盤整備機構　本部９階　会議室
（港区虎ノ門３−５−１　虎ノ門３７森ビル９階）



東京メトロ 日比谷線　● 虎ノ門ヒルズ駅 Ａ１、Ａ２出口から徒歩３分
　　● 神谷町駅４ｂ出口から徒歩６分
東京メトロ 銀座線　● 虎ノ門駅２番出口から 徒歩１０分

※受講生用の駐車・駐輪設備がございませんので、
　受講にあたっては電車・バス等の公共交通機関でお越しください。

インターネットによるお申込み方法

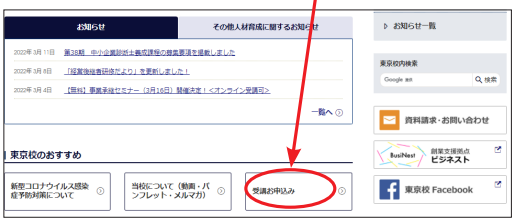
1 ホームページにアクセス

受講したい研修が決まったら、中小企業大学校のホームページにアクセス。
【東京校ホームページ】
https://www.smrj.go.jp/institute/tokyo/index.html

中小企業大学校　東京校　検索　※PC での申込みが便利です。

2 受講申込み

東京校トップページ下部「受講お申込み」をクリックします。



3 Web 申込み

「Web 申込み」をクリック。 ※研修詳細ページからも申込みできます。

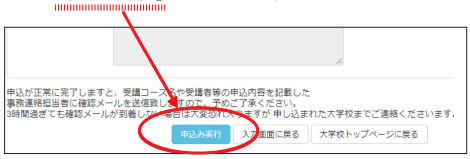
ご希望の研修コースをプルダウンしてお選びください。

以下必要事項をご記入ください。

4 確認画面 ▶ 申込み実行

申し込み画面に必要事項を入力後「確認画面へ」をクリックします。

内容が正しければ、「申込み実行」 をクリック。



申込完了後東京校から確認メールが送付されます。

※確認メールが届かない場合や確認メールの内容が異なる場合は、
　お手数ですが東京校までご連絡ください。

次回からのお申込みが簡単に！

Web 企業 ID を登録がおすすめ！

Web 企業 ID を登録することで、次回からの
お申込みがより簡単に！ぜひ、この機会にご登録ください。

登録方法
受講申込みのページ「事務連絡担当者」欄にある「Web 企業 ID の登録」で「可」を選択してください。

- 初回お申込み完了後、ご登録の e-mail アドレス宛に「お申込み受付の確認メール」が送信されます。
- 内容に従い、必ず Web 企業 ID のパスワード設定をお願いします。
- 次回以降は「Web 企業 ID を登録」　欄に ID と設定したパスワードを入力しログインしていただくと企業情報などが自動で入力されるほか、過去の申込履歴をご覧いただけます。

No.21

コース名	**トップセミナー2　一歩を踏み出す！サーキュラー・エコノミー【虎ノ門開催】** 循環型経済で新たなビジネスモデルを創造する				
研修のねらい	地球温暖化をはじめとするサステナビリティ問題が世界的に問題になっている中、日本は、2030年に2013年比で46%の温室効果ガスの削減、2050年には実質ゼロを目標にしています。サステナビリティ問題を解決するための資源循環経済（サーキュラーエコノミー）の考え方は、資源調達コストの高騰・確保の難しさに直面する中小企業の課題解決から、新たなビジネスモデルのもとで価値創造経営への転換を図るチャンスとなります。 本研修では、「サーキュラー・エコノミー」の正しい理解や進め方、その推進によってもたらされる新たな企業価値について、専門家による提言、メッセージ、最先端の取り組み事例を紹介します。また、自社が取り組む際のヒントやポイントを考えて、ビジネスモデルの変革を目指します。				
研修の特長	・SDGsを実践するサーキュラー・エコノミーについて、その考え方の基本が学べます。 ・中小企業の実践例をもとに、サーキュラー・エコノミーを自社のビジネスに反映するプロセスを学べます。 ・ビジネスモデルを変革し、時代を先取りする企業価値創造経営を目指します。 ◆本コースでの学習と併せて、下記コースをご活用ください。 ・「No.16 徹底サポート！自社の経営戦略策定講座」2024年9月18日（水曜）～ 9月19日（木曜）／10月18日（金曜）〈全3日間〉 ・「No.17 トップセミナー1　イノベーション経営の実践」2024年9月26日（木曜）〈1日間〉 ・「No.18 プロセスを学ぶリスクマネジメント」2024年10月29日（火曜）～ 10月30日（水曜）〈2日間〉				
研修期間	2024年11月27日（水曜）＜1日間＞				
対象者	・経営者、経営幹部 ・サーキュラー・エコノミーについて、最新情報や取り組み方等、事例も含めて詳しく知りたい方	**定員**	20 名	**受講料**	16,000 円

日付	時間	科目	内容	講師
11/27 （水）	9時20分～9時30分	**オリエンテーション**		中小企業大学校担当職員
	9時30分～11時00分	**サーキュラー・エコノミーその本質**	【サーキュラー・エコノミー：循環経済がビジネスを変える】 ・環境政策の最新情報とともに、これからのものづくりとビジネスモデルの変革をとらえます。	梅田　靖 東京大学大学院　工学系研究科　人工物工学研究センター　価値創成部門　教授
	11時00分～12時30分	**事例で学ぶサーキュラー・エコノミー**	【捨て方をデザインする環境ビジネス】 ・廃棄物処分業を、総合リサイクル業・資源循環業として事業を解釈し、さまざまな企業との連携を実現した事業展開と事例を紹介。事業の変革を従業員と共有する企業カルチャーの構築方法などについても触れます。	中台　澄之 株式会社ナカダイホールディングス 代表取締役
	13時30分～16時30分	**サーキュラー・エコノミーの考え方、進め方**	講師やコーディネーターを交えて、「サーキュラー・エコノミー（循環型経済）」をテーマとしたワークショップや意見交換を行います。 グループで、自社においてどのようなビジネス展開が可能になるか、また、どのようなビジネスチャンスの可能性があるのか検討してもらいます。グループ毎に意見をまとめ、発表し、共有化を図ります。 幅広い層の考えや意見に触れながら課題やアイディアを得ることで、自社のビジネスモデル創造のヒントを探ります。	中台　澄之 再掲 坂田　卓也 合同会社サカタ経営 代表社員
	16時30分～16時40分	**修了証書の授与**		中小企業大学校担当職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
梅田　靖 （うめだ　やすし） 東京大学大学院　工学系研究科 人工物工学研究センター　価値創成部門 教授	1992年東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻博士課程修了。博士（工学）。専門はサステナビリティ設計学。同大工学部助手、講師を経て、1999年から東京都立大学大学院工学研究科機械工学専攻助教授、2005年に大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻教授、2014年に東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻教授、2019年から現職。
中台　澄之 （なかだい すみゆき） 株式会社ナカダイホールディングス 代表取締役	リサイクル率99%の中間処理場をもつ(株)ナカダイと、企業や自治体の廃棄物のリサイクル化やCO2削減のコンサルティングを行う(株)モノファクトリーのグループ三社の代表を務め、資源循環ビジネスを展開する。2023年に九州電力と合弁でサーキュラーパーク九州株式会社を設立し、共同代表取締役に就任。2013年グッドデザイン賞「未来づくりデザイン特別賞」。著書に『捨て方をデザインする循環ビジネス』（誠文堂新光社）など。
坂田　卓也 （さかた　たくや） 合同会社サカタ経営　代表社員	日本大学大学院理工学研究科（機械工学専攻）を修了後、大手印刷会社・蓄電システム開発会社を経て、経営コンサルタントとして独立。 経営工学（IE）を活用した生産性改善、品質管理（QC）・品質改善、新工場計画、生産ラインの自動化等のコンサルティングを行う他、省エネルギー診断やSBTの計画策定など脱炭素に係わる取り組みにも従事。印刷関連業・金属加工業・食品加工業・繊維業などの製造業を中心とした幅広い業種の支援に携わっている。中小企業診断士、技術士（機械部門）、エネルギー管理士